

**【メマンチン塩酸塩 OD 錠 10mg 「ケミファ」】
無包装状態における安定性に関する資料**

日本ケミファ株式会社

● 目的

メマンチン塩酸塩 OD 錠 10mg「ケミファ」の無包装状態での安定性を確認するため試験を実施した。

● 保存条件

〈無包装状態〉

- (1) 温度 : 40±2℃、3 ヶ月、遮光・気密容器 (ガラス瓶)
- (2) 湿度 : 25±2℃、75±5%RH、3 ヶ月、遮光・開放
- (3) 光 : 4000lx (D65)・12.5 日 (総照度 120 万 lx・hr)、25±2℃、60±5%RH、気密容器 (シャーレ、ラップで覆いパラフィルムでシールする)

● 試験項目

性状、崩壊性、溶出性、定量法、純度試験 (類縁物質)、硬度※

※本剤には硬度の規格が設定されていないため、「錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性情報 改訂 6 版 (医薬ジャーナル社)」の評価基準 (下表) に従い、硬度を評価した。

分類	評価基準
変化なし	硬度変化が 30%未満の場合
変化あり (規格内)	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重以上の場合
変化あり (規格外)	硬度変化が 30%以上で、硬度が 2.0kg 重未満の場合

2.0kg 重=19.6N

● 結果

(1) 温度に対する安定性

試験項目	規格	開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	淡黄白色の素錠	淡黄白色の素錠			
崩壊性 (秒)	2 分以内に崩壊する	9~13	10~12	11~13	8~10
溶出性 (溶出率 : %)	15 分間の溶出率が 85%以上	95~100	94~100	87~101	88~98
定量法 (含量 : %)	95.0~105.0%	102.0~102.5	101.5~103.6	101.9~103.0	101.4~102.9
純度試験 (類縁物質 含量※ : %)	参 考 値	最大類縁物質	0.02	0.02	0.02
		類縁物質合計	0.02~0.05	0.02	0.02
硬度 (N)	参考値 (最小値~最大値)	60~74	62~75	57~76	60~75
	平均値 [変化率]	68 [0.0]	69 [+1.5]	68 [0.0]	68 [0.0]

※標準溶液のメマンチンのピーク面積を 1%として算出。

表中の数値は、最小値~最大値を表す。

(2) 湿度に対する安定性

試験項目	規格		開始時	1 ヶ月	2 ヶ月	3 ヶ月
性状	淡黄白色の素錠		淡黄白色の素錠			
崩壊性（秒）	2 分以内に崩壊する		9～13	7～8	8～10	6～8
溶出性 （溶出率：％）	15 分間の溶出率が 85%以上		95～100	87～104	85～93	91～99
定量法 （含量：％）	95.0～105.0%		102.0～102.5	102.6～104.4	103.0～104.3	101.5～102.5
純度試験 （類縁物質 含量※：％）	参 考 値	最大類縁物質	0.02	0.02	0.02	0.02
		類縁物質合計	0.02～0.05	0.02	0.02	0.02
硬度（N）	参考値 （最小値～最大値）		60～74	31～39	31～35	27～34
	平均値 [変化率]		68 [0.0]	35 [-48.5]	33 [-51.5]	31 [-54.4]

※標準溶液のメマンチンのピーク面積を 1%として算出。

表中の数値は、最小値～最大値を表す。

(3) 光に対する安定性

試験項目	規格		開始時	60 万 lx・hr	120 万 lx・hr
性状	淡黄白色の素錠		淡黄白色の素錠		
崩壊性（秒）	2 分以内に崩壊する		9～13	11～13	9～11
溶出性 （溶出率：％）	15 分間の溶出率が 85%以上		95～100	89～93	100～105
定量法 （含量：％）	95.0～105.0%		102.0～102.5	101.1～103.1	98.3～103.2
純度試験 （類縁物質含量※：％）	参 考 値	最大類縁物質	0.02	0.02	0.02
		類縁物質合計	0.02～0.05	0.02	0.02
硬度（N）	参考値 （最小値～最大値）		60～74	56～74	57～68
	平均値 [変化率]		68 [0.0]	64 [-5.9]	62 [-8.8]

※標準溶液のメマンチンのピーク面積を 1%として算出。

表中の数値は、最小値～最大値を表す。

● 結論

メマンチン塩酸塩 OD 錠 10mg「ケミファ」の無包装状態における安定性を確認するため試験を実施した結果、温度に対する安定性においては、問題となる変化は認められなかった。湿度に対する安定性においては、硬度低下（規格内）が認められた。光に対する安定性においては、問題となる変化は認められなかった。

日本ケミファ株式会社：無包装状態の安定性に関する資料（社内資料）

2020年2月作成